

平成 30 年度 事業報告

概要

本財団は、昭和 44 年（1969）の設立以来、これまで事業目的である京都市域の文化観光資源の保護と活用を図り、京都市の文化観光の発展と文化的向上に寄与するため事業の構築に取り組んできた。また、平成 23 年（2011）からは公益財団法人として、民間公益活動の普及向上にもつとめている。

当年度においても公益目的事業である文化観光資源保護事業、普及啓発事業及び会員事業について、当初の事業計画どおり実施し、適正な業務の遂行と透明性の高い法人運営に取り組んだ。

文化観光資源保護事業の助成事業では、募集要項にもとづき事前相談、申請受付を行い、当財団の専門委員会において助成対象として選定された保護事業について、これまでと同規模の助成金を交付し、保護事業者の財政負担の軽減につとめた。また、調査研究事業においては、助成申請のあった保護事業の実地調査、記録の収集及び京都市域の文化観光資源の写真記録等の調査、収集を行った。

文化観光資源保護普及啓発事業では、計画どおりの事業を実施し、併せてウェブ等において情報発信を行い、事業の啓発と京都の文化観光資源の紹介及び保護、普及につとめた。

会員事業では、機関誌「会報」を定期発行し、三大祭観覧等の招待や文化財特別鑑賞等の諸事業の内容充実につとめ、会員から好評を得た。

法人運営については、公益財団法人として情報公開や公益法人制度関係法並びに定款に則った適正な運営につとめた。また、募金活動では、会報を通じて会員への更なる支援、協力の呼び掛けを行い併せて市民募金運動の推進として、実施事業を通じて広く支援、協力を呼びかけた。

個別事業の詳細は、以下のとおり。

I. 文化観光資源保護事業（公益目的事業 1）

1. 助成事業

（1）対象事業

平成 30 年度に実施された下記の保護事業で、当財団が定める「文化観光資源保護事業助成金交付対象選定基準」に該当した事業

1) 文化財所有者、管理者等の行う文化観光資源保護事業に対する助成

文化財の所有者、管理者等が行う文化財や観光資源である建造物、美術工芸品及び史跡、名勝、天然記念物の保全を行う各事業

2) 伝統行事、伝統芸能の保存及び執行に対する助成

伝統行事、伝統芸能を保存伝承する保存団体が記録作成、後継者の養成、衣装・用具、収蔵・施設の修理新調を行う各保護事業並びに執行・公開を行う各事業

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備に対する助成

寺院、神社等の環境保全、文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備を行う自然環境の各事業

4) 文化観光資源施設の整備に対する助成

文化財所有者や管理者等が行う文化財や観光資源を災害から守るための防災施設の設置・改修、収蔵施設等の設置・整備を行う文化観光資源を保護するための各事業

(2) 申請の応募、受付

ウェブサイト等で申請の応募を行い、事前相談（4月1日～28日）及び申請書の受付（5月31日提出期限）を行った。

(3) 専門委員会の開催、助成対象の選定

○日時 11月21日

○出席者 尼崎博正委員、高橋康夫委員、小椋純一委員、伊東史朗委員、奥平俊六委員、伊達仁美委員 以上6名

○決議事項 第1号議案 平成29年度文化観光資源保護事業助成対象の選定について

1) 文化財所有者、管理者等が行う文化観光資源保護事業

2) 伝統行事、伝統芸能の保存及び執行事業

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備事業

(4) 助成金の交付決定、事業報告

専門委員会において、選定された48件について、11月21日付で、申請者に対し助成金交付内定通知を送付し、第5回通常理事会（2月22日開催）において、助成額を決定し総額5,920万円の助成金を交付することにした。内訳は、以下のとおり。

また、申請者から保護事業報告書の提出（3月末期限）を求めた。

1) 文化財所有者、管理者の行う文化観光資源保護事業に対する助成

4件 助成金 280万円

2) 伝統行事、伝統芸能の保存及び執行に対する助成

43件 助成金 5,386万円

○伝統行事、伝統芸能の保存に対する助成

2件 助成金 673万円

○伝統行事、伝統芸能の執行・公開に対する助成

41件 助成金 4,713万円

・伝統行事 19件 助成金 4,398万円

・伝統芸能 22件 〃 315万円

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備に対する助成

1件 助成金 254万円

助成対象事業及び助成金内訳

1. 文化財所有者、管理者の行う文化光資源保護事業に対する助成

対 象

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	助成申請額	助成額	備考
賀茂別雷神社 (京都市北区)	摂社大田神社拝殿修理事業	3,553	70	70	
(公財)冷泉家時雨亭文庫 (京都市上京区)	角蔵修理事業	326	70	70	
錦天満宮 (京都市中京区)	屏風修理事業	293	70	70	
両足院 (京都市東山区)	南蔵修理事業	1,169	70	70	
計	4件	5,341	280	280	

2. 伝統行事、伝統芸能の保存及び執行に対する助成

1) 伝統行事、伝統芸能の保存に対する助成

対 象

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	助成申請額	助成額	備考
(公財)祇園祭山鉾連合会	祇園祭山鉾(8件)保存修理事業	1,264	293	293	
役行者山	担棒新調	130	—	—	
長刀鉾	破風角金具、水引ほか修理	182	—	—	
南観音山	御神体、棟板ほか修理	212	—	—	
放下鉾	床板、屋根金具修理ほか	105	—	—	
油天神山	担棒止金具修理、胴差新調	26	—	—	
木賊山	御神体修理	41	—	—	
菊水鉾	天御簾修理	557	—	—	
鯉山	鯉尾ひれ修理	11	—	—	
京都五山送り火連合会	五山送り火各山火床等整備事業	1,487	380	380	
大文字	火床斜面擁壁設置、遮蔽木伐採ほか事業	353	—	—	
松ヶ崎妙法	水溜ドラム缶取替等、遮蔽木伐採、土塁階段修理、門扉調整ほか事業	109	—	—	
船形万燈籠	遮蔽木伐採、搬入路整備ほか事業	364	—	—	
左大文字	火床修繕補修、伐採刈込・立て枯れ伐採、石塁設置、土止め、倉庫屋根部分塗装ほか事業	351	—	—	
鳥居形松明	火床台整備、火床修繕、搬入路整備ほか事業	310	—	—	
計	2件	2,751	673	673	

2) 伝統行事、伝統芸能の執行・公開に対する助成

○伝統行事

対 象

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	助成申請額	助成額	備考
葵祭行列協賛会	葵祭行列の執行	2,908	675	675	
祇園祭協賛会	祇園祭山鉾巡行の執行	10,320	2,050	2,050	
京都五山送り火協賛会	京都五山送り火点火の執行	2,390	650	650	
時代祭協賛会	時代祭行列の執行	2,170	623	623	
嵯峨御松明保存会	嵯峨お松明行事の執行	218	20	20	
賀茂競馬保存会	賀茂競馬行事の執行	868	25	25	
藤森神社駈馬保存会	藤森駈馬行事の執行	350	25	25	
糺の森流鏑馬神事等保存会	糺の森流鏑馬行事の執行	630	25	25	
鞍馬山竹伐り会式保存会	鞍馬山竹伐り会行事の執行	120	13	13	
花脊松上げ保存会	花脊松上げ行事の執行	120	25	25	
広河原松上げ保存会	広河原松上げ行事の執行	200	25	25	
雲ヶ畑松上げ保存会	雲ヶ畑松上げ行事の執行	70	20	20	
小塩上げ松保存会	小塩上げ松行事の執行	10	5	5	
烏相撲保存会重陽社	烏相撲行事の執行	58	10	10	
西ノ京瑞饋神輿保存会	西ノ京瑞饋祭行事の執行	360	25	25	
北白川伝統文化保存会	北白川高盛御供行事の執行	26	6	6	
日野裸踊保存会	日野裸踊行事の執行	23	6	6	
鞍馬火祭保存会	鞍馬火祭行事	743	160	160	付記
桂川舟渡し保存会	松尾祭桂川舟渡御行事の執行	63	10	10	
計	19 件	21,647	4,398	4,398	

付 記

鞍馬火祭行事助成金（申請者 鞍馬火祭保存会）は台風 21 号の被害による影響により松明・神輿渡御など一部神事が中止された為、事業規模が縮小されたことから申請者より助成申請書の変更届が提出されたことにより、助成額の減額を行った。（当初の事業費 919 万円、当初の助成申請額 200 万円）

○伝統芸能の部

対 象

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	助成申請額	助成額	備考
蹴鞠保存会	蹴鞠の公開	320	20	20	
壬生大念佛講	壬生狂言の公開	279	15	15	
神泉苑大念佛狂言講社	神泉苑狂言の公開	50	15	15	
千本ゑんま堂大念仏狂言保存会	千本ゑんま堂狂言の公開	62	15	15	
嵯峨大念佛狂言保存会	嵯峨狂言の公開	70	15	15	
久世六斎保存会	久世六斎の公開	62	15	15	
中堂寺六斎会	中堂寺六斎の公開	73	15	15	
梅津六斎保存会	梅津六斎の公開	65	15	15	
小山郷六斎念仏保存会	小山郷六斎の公開	77	15	15	
千本六斎会	千本六斎の公開	48	15	15	
壬生六斎念仏講中	壬生六斎の公開	55	15	15	
嵯峨野六斎念仏保存会	嵯峨野六斎の公開	24	10	8	
西方寺六斎念佛保存会	西方寺六斎の公開	50	10	10	
上鳥羽橋上鉦講中	上鳥羽六斎の公開	31	10	10	
川上やすらい踊保存会	川上やすらい花の公開	43	13	13	
今宮やすらい会	今宮やすらい花の公開	130	13	13	
玄武やすらい踊保存会	玄武やすらい花の公開	80	13	13	
上賀茂やすらい踊保存会	上賀茂やすらい花の公開	50	13	13	
久多花笠踊保存会	久多花笠踊の公開	85	25	25	
八瀬郷土文化保存会	八瀬赦免地踊の公開	210	20	20	
(公財)松ヶ崎立正会	松ヶ崎題目踊の公開	30	10	10	
番匠保存会	上棟祭の公開	57	10	10	
計	22 件	1,951	317	315	
合計	41 件	23,383	4,759	4,713	

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全等に対する助成

対 象

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	助成申請額	助成額	備考
(公財)京都古文化保存協会 (京都市左京区)	文化財周辺松喰虫等駆除事業	780	254	254	
計	1件	780	254	254	

単位：万円

合 計	48件	32,470	5,922	5,920	
-----	-----	--------	-------	-------	--

2. 文化観光資源に関する調査研究並びに情報の収集及び提供

- (1) 当年度助成申請のあった文化観光資源保護事業等の現地調査及び資料収集、写真記録を行い、事務局において調査報告書を作成し専門委員会に文化観光資源保護事業選定資料として提出した。また、各修理状況等の事業内容をデータ化して、記録保存し今後の保護、伝承のための資料として供することとした。
- (2) 京都市域の伝統行事、伝統芸能の公開時の記録及び文化財指定を受けていない文化観光資源について、資料収集や写真記録を行い、今後の保存・保護を図るうえでの資料として活用することとした。
- (3) 文化財保護関係機関等との連絡協議

文化財保護関係機関で構成する文化財保護連絡協議会、文化財防災対策連絡会に参加し、京都の文化観光資源保護に関する情報の交換や収集等を行い実態把握につとめ、各機関と協調して事業の効果的な取り組みについて検討した。

また、葵祭、祇園祭、京都五山送り火、時代祭の四大大行事の各協賛会等の会議に参画し、行事の円滑な実施に協力した。

1) 平成30年度文化財保護連絡協議会 開催日：8月28日

京都府教育庁指導部文化財保護課、同文化スポーツ部文教課、京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課、同消防局予防部、公益財団法人京都古文化保存協会、公益財団法人京都文化財団、当財団の7者で構成し、情報交換等を行うとともに、平成30年度文化財の保護に関する巡回よろず相談を共同で実施し、相談者に対し当財団の助成事業について説明を行った。

実施日：9月7日 開催場所：ルビノ京都堀川

2) 文化財防災対策連絡会（今年度事務局 京都市消防局予防部予防課）

開催日：第1回 6月7日 第2回 10月9日 第3回 3月18日

京都府教育庁指導部文化財保護課、同文化スポーツ部文教課、同府民生活部災害対策課、同警察本部生活安全部生活安全企画課、同警備第一課、京都市消防局予防部予防課、同都市計画局都市景観部景観政策課、同文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課、公益財団法人京都文化財団文化財保護基金室、公益財団法人京都古文化保存協会、京都大阪森林管理事務所、当財団の12者で構成し、文化財の防災等に関する情報交換を行った。

3) 四五行事（葵祭、祇園祭、京都五山送り火、時代祭）協賛会並びに総合打ち合わせ会議

四五行事の円滑な行事の執行に向けて、各関係団体で構成する協賛会並びに総合打ち合わせ会議に加わり、協議を行った。

II. 文化観光資源保護普及啓発事業（公益目的事業2）

1. 刊行物の発行

文化観光資源公開事業において、公開対象文化財について理解を深めてもらうため解説書を作成し、参加者に配付した。

2. 文化観光資源公開事業の実施

京都の文化財や観光資源の愛護思想の普及啓発につとめることを目的に実施している。当年度は、下記の文化財特別鑑賞及び公演事業を実施した。また、事業を通じて参加者に対し、当財団の事業活動への協力と支援を呼びかけた。

(1) 京の文化財探訪 嵯峨の古仏を訪ねて 「清凉寺」「薬師寺」「慈眼寺」文化財特別鑑賞

実施期間 4月20～22日

参観者数 488名（一般・会員・招待者含む）

(2) 京の文化財探訪 紅葉の借景庭園「正伝寺」文化財特別鑑賞

実施期間 11月23～25日

参加者数 524名（一般・会員・招待者含む）

(3) 京都のやすらい花 ―講演と実演―

会場 京都市生涯学習総合センター

実施日 2月16日
入場者数 178名（一般・会員含む）
内容 講演 「京都のやすらい花」
京都市文化財保護審議会委員 山路 興造
記録映像の上映 「風流踊やすらい花」
実演 「今宮やすらい花」（国指定重要無形民俗文化財）
今宮やすらい会

3. ウェブサイトによる発信事業

ホームページを通じて、京都の文化観光資源や実施事業、活動紹介、「会報」寄稿文などの情報を発信し、内容の充実と更新の頻度を上げ、京都の文化観光資源の保護や活動への協力と支援を広く呼びかけた。また、法人情報の公開を積極的に行った。当年度末までのアクセス状況は、610,108件であった。

4. 伝統行事・伝統芸能功労者表彰事業

京都市域に保存伝承されている伝統行事・芸能の保存と継承に長年にわたり貢献されてきた下記の9名の方々を功労者として、伝統行事・芸能功労者表彰要綱に基づき京都市長、理事長名にて表彰した。表彰式を2月22日、第5回通常理事会終了後に行った。

〈被表彰者（順不同・敬称略）〉岡本 政明（糺の森流鏑馬神事等保存会）、上田 勲（西之京瑞饋神輿保存会）、萬徳 益男（上賀茂さんやれ保存会連絡協議会）、熊谷 昇（三栖・炬火会）、木下 龍美（小山二ノ講）、亀浦 睦久（御香宮獅々若会）、平田光子（壬生大念仏講）、山口 章司（久世六齋保存会）、橋本 雅文（京都中堂寺六齋会）、吉田 和弘（壬生六齋念仏講中）、嶋田 優次（六齋念仏上鳥羽橋上鉦講中）、川端真奈美（八瀬郷土文化保存会）、藤井祥子（上賀茂紅葉音頭保存会）、二股美恵子（上高野念佛供養踊保存会）

5. 文化観光資源に関する事業の後援

文化観光資源の保護と活用を目的とする下記の事業を後援し、事業協力を行った。

(1) 「平成30年度ふるさと文化財の森システム推進事業」普及啓発事業『森が支える日本の技術2018公開セミナー』の後援

11月2・3日 主催：公益社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会

文化財保護に関わる専門技術の普及を目的に、実演、展示、体験等が行われた。

(2) 第53回「京の冬の旅」の後援

1月1日～3月24日 主催：公益社団法人京都市観光協会

京都の冬季の観光客誘致対策を目的に、非公開文化財の特別公開等が行われた。

(3) 平成31年「鉦始め・木遣音頭」の後援

1月2日 主催：番匠保存会

6. その他

(1) 報道機関による啓発活動の推進

各種報道機関に対し、当財団の実施事業のつど発表し、事業紹介と活動についての理解と支援を呼びかけた。

III. 会員事業

1. 「会報」及び「平成29年度活動報告」の発行

「会報」は、第122, 123, 124号の3号を各2,000部発行した。京都の文化財や観光資源に関する有識者からの寄稿や事業活動などを詳しく掲載し、すべての会員及び文化財保護関係機関、文化観光資源所有者・管理者、伝統行事・伝統芸能保存団体に送付した。

また、平成29年度に実施した事業活動及び財務状況などを詳しく掲載した年次報告「平成29年度活動報告」を1,500部発行し、すべての会員に送付し情報公開にとめた。

○「会報」の主な掲載内容は、以下のとおり。

No. (発行月)	主な目次
No.122(30.7.1付)	寄稿 京都の文化遺産を守り継ぐために「壬生寺と地藏信仰」 壬生寺副住職松浦康昭氏(壬生寺副住職)、特集 京都の彫刻・ 工芸品2「岩戸山の四本柱彫刻―千家十職金物師中川浄益の仕 事」山下絵美(京都市文化財保護技師)、保護財団の活動
No.123(30.11.1付)	寄稿 京都の文化遺産を守り継ぐために「文化財の環境を守っ て」田中安比呂(賀茂別雷神社宮司、公益財団法人京都古文化 保存協会理事長)、特集 京都の彫刻・工芸品3「仏師・清水隆 慶のつくった木造深山正虎坐像―車僧のものがたり」山下絵美 (京都市文化財保護技師)、保護財団の活動

No.124(31.3.1 付)	特集 京都の彫刻・工芸品 4「玳瑁貼金銅獅子牡丹文説相箱・玳瑁貼金銅五獅子文如意―涌泉寺の美術工芸品から―」 山下絵美氏（京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課技師）、特集 京都の文化遺産の保存と継承（1）「京都市内の小学校に残る生活資料」伊達仁美（京都造形芸術大学教授、当財団専門委員会委員）、保護財団の活動
------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 会員事業の実施及び文化観光資源保護普及啓発事業への招待、刊行物の案内

会員規程に定める会員を対象とした以下の会員事業を実施並びに文化観光資源保護普及啓発事業に招待等を行った。

○京の三大祭観覧招待

葵祭	(5月15日)	京都御苑建礼門前	観覧者数	257名
祇園祭前祭	(7月17日)	京都市役所前	〃	308名
時代祭	(10月22日)	京都御苑建礼門前	観覧者数	276名

○京都古文化保存協会主催

「平成30年度京都春季非公開文化財特別公開」招待

実施期間 4月27日～5月6日 申込者数 212名

○世界遺産「総本山 醍醐寺」文化財特別鑑賞

実施日 5月25日 参加者数 95名

○「壬生寺」と「壬生六斎念仏」文化財特別鑑賞

実施日 9月16日 参加者数 103名

○京の文化財探訪 紅葉の借景庭園「正伝寺」文化財特別鑑賞

実施期間 11月23～25日 参加者数（会員ほか含む） 524名

○「八大神社」と「剣鉾差し」文化財特別鑑賞

実施日 10月21日 参加者数 61名

○文化財講演と「妙法院・蓮華王院三十三間堂」文化財特別鑑賞

実施日 12月4日 〃 83名

○初冬の大原「三千院門跡」を訪ねて

実施日 12月15日 〃 77名

○京都市観光協会主催「第53回京の冬の旅 非公開文化財特別公開」

実施期間 1月1日～3月24日 主催：公益社団法人京都市観光協会
見学者延べ数 366名

○京都五山送り火記念「扇子」を申込希望者に抽選のうえ30名に進呈

3. 寄附者の顕彰及び会員登録状況

文化観光資源保護協力者感謝状贈呈要綱に基づき、下記2名の高額寄附者に対して理事長名にて感謝状を贈呈した。贈呈式を2月27日、第5回通常理事会終了後に行った。

文化観光資源保護協力者感謝状贈呈者（敬称略）

伊勢 初枝、中村 範夫 基本財産寄附者

また、新たな会員の拡充につとめるため、実施事業において活動案内パンフレットを設置し、協力の呼びかけを行った。

○会員登録状況（平成31年3月31日現在）

会員区分	法人	個人
特別会員	162	202
普通会員	4	186
賛助会員	15	104
計	181	492

注）平成24年度より新会員規程による会員区分に基づいている。

IV. 法人運営

1. 募金活動

（1）募金状況

事業活動の基盤強化と市民募金運動の推進として、実施事業を通じて個人寄附の呼びかけを行うとともに、会員に対し追加寄附の協力を呼びかけた。

寄附状況

・一般寄附金	2,832,000 円
・特別寄附金	1,941,000 円
・指定寄付金	4,186,000 円

京都市文化観光資源保護基金 30 年度末残高

2,421,146,547 円

2. 会議開催状況

（1）理事会

第1回みなし理事会 5月7日（決議の省略）

議案 評議員会招集の件

報告事項 理事並びに評議員の選任
出席等 提案書に対し、理事 13 名全員の書面による同意の意思表示、
監事 2 名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事
会の決議があったものとみなされた。

第 2 回通常理事会 6 月 6 日

議案 顧問の選任、基本財産寄付金の公益目的保有財産への組み入れ
の承認、平成 29 年度時代祭行列事業に対する助成金の交付の件、
平成 30 年度事業報告の承認、平成 29 年度計算書類の承認、
平成 29 年度常勤理事の役員報酬の承認

報告事項 第 1 回臨時評議員会みなし決議事項、第 1 回臨時理事会みな
し決議事項、定時評議委員会承認の件、顧問の選任、平成 30 年
度文化観光資源保護事業助成申請状況

出席 理事 11 名、監事 1 名

第 3 回みなし理事会 6 月 26 日（決議の省略）

議案 業務執行理事・専務理事選任の件

出席等 提案書に対し、理事 14 名全員の書面による同意の意思表示、
監事 2 名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事
会の決議があったものとみなされた。

第 4 回みなし理事会 8 月 23 日（決議の省略）

議案 平成 30 年度文化観光資源保護事業等に対する助成の件

出席等 提案書に対し、理事 14 名全員の書面による同意の意思表示、
監事 2 名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事
会の決議があったものとみなされた。

第 5 回通常理事会 2 月 22 日

議案 任期満了に伴う顧問の選任、平成 30 年度文化観光資源の所有
者、管理者等に対する助成金の交付（案）の承認、追加議案新規
事業「文化観光資源デジタル保存・活用事業」の承認、平成 30
年度事業計画並びに収支予算（案）、資金調達及び設備投資の見
込みを記載した書類の承認

報告事項 役員賠償責任保険の契約継続、平成 30 年度第 2 回定時評議員
会の決議内容、事業活動・職務執行の状況、理事、監事並びに評
議員の任期満了に伴う改選

出席 理事 9 名、監事 1 名

（2）評議員会

第 1 回みなし評議員会 5 月 7 日（決議の省略）

議案 理事並びに評議員選任の件
出席等 提案書に対し、評議員 23 名全員の書面による同意の意思表示
があり、評議員会の決議があったものとみなされた。

第 2 回定時評議員会 6 月 26 日

議案 平成 29 年度事業報告の承認、平成 29 年度計算書類の承認、
理事の選任、平成 30 年度常勤理事の役員報酬の承認
報告事項 平成 30 年度事業計画並びに収支予算、資金調達及び設備投資
の見込みを記載した書類決議、顧問専任決議の件、平成 30 年度
文化観光資源保護事業助成申請相談状況
出席 評議員 14 名、理事長、専務理事、常務理事、監事 1 名

第 3 回みなし評議員会 10 月 20 日（決議の省略）

議案 評議員選任の件
出席等 提案書に対し、評議員 23 名全員の書面による同意の意思表示
があり、評議員会の決議があったものとみなされた。

第 4 回みなし評議員会 3 月 5 日（決議の省略）

議案 評議員選任の件
出席等 提案書に対し、評議員 23 名全員の書面による同意の意思表示
があり、評議員会の決議があったものとみなされた。

(3) 監事会 5 月 14 日

議案 平成 29 年度 業務及び会計一件
出席 監事 2 名及び専務理事、事務局職員 2 名

3. 役員の異動

(1) 理事会

第 1 回みなし評議員会による承認（5 月 1 日付）

就任	顧問	西脇 隆俊（京都府知事）
退任	顧問	山田 啓二
就任	理事	曾我 修（京都市会文化環境委員会委員長）
	評議員	高畑 重勝（公益社団法人京都市観光協会事務総長）
		白波瀬 誠（京都中央信用金庫理事長）
退任	理事	大道 義知
	評議員	久保 勝信
	〃	長谷川 淳一
	〃	布川 豊

第 3 回みなし理事会による承認（6 月 26 日付）

就任 専務理事 北村 康二（前京都市産業観光局理事）

退任 専務理事 和田 隆夫

(1) 評議員会

第1回みなし評議員会による承認（5月7日付）

就任 理事 曾我 修（京都市会文化環境委員会委員長）

評議員 高畑 重勝（公益社団法人京都市観光協会事務総長）

白波瀬 誠（京都中央信用金庫理事長）

退任 理事 大道 義知

評議員 久保 勝信

〃 長谷川 淳一

〃 布川 豊

第3回みなし理事会による承認（10月20日付）

就任 評議員 武田 昭英（浄土真宗本願寺派執行長）

退任 評議員 増田 寿幸

第4回みなし評議員会の承認（3月5日付）

就任 評議員 仲谷 善雄（立命館総長）

〃 井桁 雄弘（知恩院執事長）

辞任 評議員 吉田 美喜夫

〃 北川 一有

5. 登記事項

理事並びに評議員の変更登記

理事 曾我 修

評議員 高畑 重勝、白波瀬 誠

5月8日付 就任登記

理事 大道 義知

評議員 長谷川 淳一、布垣 豊

5月8日付 辞任登記

6. 行政庁への届出・提出事項

評議員、理事変更の届出

5月16日付 届出

平成29年度事業報告等に係る提出書

6月27日付 提出

理事変更の届出

7月12日付 届出

評議員変更の届出

11月2日付 〃

評議員変更の届出

3月13日付 〃

2019年度事業計画書等に係る提出書

3月13日付 提出